



2010.October



今号の内容

INTERVIEW
田中学長を直撃!!

熱戦!! 第61回四国地区
大学総合体育大会

こんにちは 附属です
交流で阿波踊りに挑戦!!

大学祭 27ごろ手と手 鳴潮祭

~手と手をつなげばなんとかナルト~

国際交流

「なんでやねん」
の誕生

アフガニスタンに
来て思ひ事

ほか

学園だより

GAKUENDAYORI

表紙デザイン

芸術系（美術）教育コース 准教授 内藤 隆
(芸術・健康系教育部)

表紙題字

初代学長 前田 嘉明

◆◆◆ 学園だより No.62 ◆◆◆

CONTENTS

2010.10

INTERVIEW 田中学長を直撃！！ インタビュアー 番場 友基	2
理事・副学長からのメッセージ	6
西園芳信, 山下一夫, 清水勇行, 草下 實, 大石雅章, 賀川昌明	
もうすぐ大学祭 「27 ごろ手と手 鳴潮祭～手と手をつなげばなんとかなルト～」	8
熱戦 第 61 回四国地区大学総合体育大会	10
課外活動～サークル紹介～	14
書道部	津村 彩花
阿波踊りサークル	三谷友里江
課外活動N e w s	15
ようこそ鳴門へ～新任教職員の横顔～	16
畑中伸夫, 佐々木恵, 前田洋一, 井上奈穂, 内田香奈子, 小倉正義, 速水多佳子, 眞野美穂, 吉田耕平	
学生相談窓口紹介	19
健康手帳 「たばこ規制枠組み条約と敷地内禁煙」 心身健康センター所長 廣瀬 政雄	20
ノースモーキング宣言	21
こんにちはは附属です	22
交流で阿波踊りに挑戦！！	附属特別支援学校 加藤 浩
身近な自然とのかかわりの中で	附属幼稚園 濱本 薫
教育実習生の後ろ姿を見送りながら	附属小学校 藤島小百合
全国中学校ソフトボール大会	附属中学校 島尾 裕介
国際交流	24
アフガニスタンに来て思うこと	森 まどか
外国人留学生見学旅行に参加して	Yohana Nita Susanti SIVIXAY Souliphone
こんにちは	Julius Kofi AGBEKO
「なんでやねん」の誕生	張 鋒
台北市立教育大学と大学間交流協定を締結しました	
平成22年度外国人留学生現員表	
なるきょう通信 -大学からのお知らせ-	30
交通ルール・マナーを守ろう！	
インフルエンザ？百日咳？と思ったら・・・	
大地震に備えて－ Part3	
第 4 回日中教師教育学術研究集会を開催します	
学生会・院生会だより	32
ひと夏終えて・・・	学生会会長 村井 庸佑
初めまして！！	院生会会長 番場 友基
行事予定	33
編集後記	33

INTERVIEW 田中学長を直撃!

平成22年4月1日に鳴門教育大学第6代学長に就任された、田中雄三先生にお話を伺いました。



鳴門教育大学長 たなか ゆうぞう 田中 雄三 先生

プロフィール

昭和17年4月2日生まれ
昭和46年3月 鳥取大学医学部卒業
昭和54年3月 医学博士（鳥取大学）
平成3年4月 鳴門教育大学教授
平成16年4月 鳴門教育大学理事
平成22年4月 鳴門教育大学長

interview & report

番場 友基（大学院 特別支援教育専攻1年）

田中学長が考える「教養」とはなんですか？

教養とは、リベラル・アーツという言葉があるように、幅広く豊かな知識と想像力を持つということだと思います。

この世界、森羅万象色々な事柄があります。その色々な世界の出来事、文学も、芸術も自然科学なども全部ひっくるめた事柄に対し、幅広く興味関心を持ってそれなりの知識を身につけ、想像力を働かせる、そういうことが成長するにあたって物事の考え方や判断や選択に作用していきます。言葉を付け加えるなら、他人の事でも我がことのように自分のなかに取り入れて考えることができるということだと思います。自己意識の拡大（オールポート）ということにつながります。

田中学長はどのような教養を身につけてきましたか？

学生時代に、英語、独語などの外国語を学んだり（ほとんど忘れましたが）、美術の世界を覗き絵を描いたり、文芸部を立ち上げ小説を書いたり、本を読んだり…。

自分の興味・関心のベクトルが広く、教養が必要だからという感覚ではなく、自然と色々取り入れていきました。でも、自分に教養があるとは思っていません。

田中学長が考える理想的な教師像とは？

教師には国家試験はありませんが、「高度な専門職業人」であると思います。

教師は子どもの運命を握っていて、子どもには教師の選択権はないのです。子ども一人ひとりの人生のキーパーソンになることを自覚しなければならないと…。そして子どもを個別に診断でき、その子の性格傾向、発達のレベルなど、今の成長水準をきちっと見立てることができ、個別に教育計画を作成し、愛情をもって指導していける、というのが僕の考える理想的な教師像です。

教師を目指そうとしている鳴教大の学生に向けてアドバイスはありますか？

4年間で教員養成、先生になるというのは期間が短すぎて難しいと思います。しかし制度設計が変わらない以上その期間の中で、学生には知識の絶対量を増やして欲しいと思います。

本学では“ふれあい”などの実習が1年次から始まりますよね。その現場での経験を通して知識の上に実習で裏打ちし、理論的な事柄と実践的な事柄とを照合し、連動させることができるようになれば、短い期間の中でも理想的な教師像に近づく事が出来ると思います。

INTERVIEW 田中学長を直撃!

僕は、学生さんに学期末に出してもらった授業評価を全科目見るようにしています。ありがたいことに、先生の授業に対する評価は、5段階中、だいたい平均4を頂いています。しかし、予習や復習をしますか?などの自主的な部分、学生さん本人の評価となると平均3が多くなります。

やっぱり、自主的な学びが少なくなると知識をあてはめて実習をすることが出来なくなる。行き当たりばったりの、体験しとけばいいやというふうになりやすいと思いますね。

学長として、今一番重きを置いて取り組まれていることはどのようなことですか?

4年間で学ぶ体系だった教員養成カリキュラムを全学一体となって作りたいと考えています。

例えば、カリキュラムマップというのを作り色々な授業科目が地図上のどこに位置づけられているのか、また、そこをたどって行けばどんな能力が達成できるかわかるようなマップを作ります。それらの能力は全て一点に、先ほどお話しした理想的な教師を作るベクトルに向いていくというものを考えています。

なぜこの様なことを考えているかという、今の教職課程というのは一定の科目の単位を取得すれば卒業でき免許状が下りるというシステムになっています。しかし、全国で800以上の教職課程を有する大学がある中、それぞれに違うカリキュラムを持っているという現状があります。それぞれの大学で個性があり良いのですが、その中でも何か共通したものがないといけない、一定の枠組みに支えられたカリキュラムが必要であるはずだということで、どのような授業をしたらどのような資質能力が身につくのかというのを整理整頓しモデルとなるカリキュラムを作りたいと考えています。そして、カリキュラムを達成したことを客観的に評価できる仕組みが必要です。

要するに、大学で教員を養成するための教科書を作りたいと考えています。

それから、予防教育科学教育研究センターを中心にして、子どもの健康と適応を守る予防教育にも力を入れています。

この方面で、全国の拠点校を目指します。



生きがいは何ですか?

人のお役にたっているという実感があると嬉しいです。

両親の存在は?

父親は小学校の教師をしていました。

母親は、農業が好きで朝から晩まで働いていました。家にこもるのが好きでなく家事は祖母に任せていました。

医学部は6年間で全ての科を学びます。卒業の時、これから仕事として向き合うことになる科を選ぶのです。父親は内科に行ってほしいという希望があったようでしたが、迷ったあげくその意向に背いて、自分が本当にやりたい精神科を選んだ、親不孝なことをしてしまったという思いがあります。

そんな事もありましたが、両親共に、「あれをしろ、これをしろ」というタイプではなく、自分の興味・関心を制御されることなくいかにやりたいことがやれた。

そういう意味では、とても良い両親だったと思います。



好きな本は?

沢山あるのですが一つとなると、福永武彦の「草の花」です。恋愛小説ですが、とても感銘を受けました。最初のエピグラフにはこの様な事が書いてあります。

INTERVIEW 田中学長を直撃!



“人は皆草のごとく、その栄光は草の花のごとし”

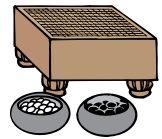
栄光というのは草の花であって、花はそのうち落ちる。栄光を夢見たり、権力を志向したり、そういう生き方についての疑問符を投げかけているように思いました。

好きな映画は？

最近あまり観ていませんが、若いころは結構観ていました。一つ挙げると‘俺たちに明日はない’です。とても有名なので知っている人は多いと思います。(追記:この映画の監督、アーサー・ペンは9月28日死去、88歳)

趣味は？

多趣味なんですけど、中学校から続いている趣味は囲碁です。関西棋院の試験を受けて7段の資格ありと言われています。でも、まぐれでしょう。



武勇伝は？

今までに殴り合いのケンカを2回しました。

一つは中学2年の時に、すぐナイフを振り回すナイフ少年がいて、この生徒と僕はいずれ対決しないといけないと思っていたのですが、ついにその時がきました。クラス委員をやっていた僕は観衆が沢山いる中「ナイフはしまえよっ!」と言ったら、なにっ!という感じで向かってきました。ナイフで突きかかられると怖いので早くナイフを奪って勝負を付けたほうがいいと思って、取っ組み合いにもって行って、ねじ伏せました。それからは、僕のいうことに耳を傾けてくれるようになりました。



もう一つは僕の方が悪いのですが、掃除を一生懸命していた僕は、‘掃除大臣’と言われていました。ある日掃除の時間中遊んでいる生徒がいて、「たまにはお前、掃除しろよ」と注意したら、その生徒が「掃除大臣だからお前がやれ」と言ってきたので、「そんなこと言うやつは、人間のクズだっ!」と言ってしまいました。しまったなと内心思いましたが、案の定帰りの時に取っ組み合いをしました。

ケンカが強かった僕はまた勝ちましたが・・・。「人間のクズ」と言ったことで、後味は悪かったです。以後、ケンカはしていません。

座右の銘は？

“人事を尽くして天命を待つ”

1日1日ベストを尽くして、結果は天命として受け入れるということです。

精神医学を学び、カウンセラーの経験から、臨床心理士になる人に望むことは？

単純な事ですが、人の話がよく聞けて、共感できる人になって欲しいということですね。自己意識を拡大して人の話を我が事のように共感して聞くというのはトレーニングが必要な事で、とても大切です。臨床心理士の素養を磨いて行って欲しいです。

INTERVIEW 田中学長を直撃!

鳴教生に伝える言葉はありますか？

僕が在学していた大学の精神医学専門の大先輩が言われた言葉なのですが、「この秋は、雨か嵐か知らねども、今日の仕事の田の草を取る」
要するに、今田んぼの草を取っているのだけれど、秋が来たら台風が来てせっかくの努力が水の泡になるかもしれないけど、そんな先の事を考えていたら田の草も取れない。
今、一人ひとりの目の前にある仕事をきちっとやって行きなさい、そして天命を待てということだと思います。

臨床心理学の言葉で言うと、「ヒヤー アンド ナウ」につながります。
今ここで起こっていることを、自分はどうか考え、どう対応して行くか。
これもまた「今」を大切にしたい言葉です。

ひげを大切にしている理由はなぜですか？

ひげのとらえ方は時代によって異なり、戦前は権威・権力の象徴でした。戦後は、ヒッピーと呼ばれ自分探しをしている若者がひげを伸ばし、権威や権力への反発を表現しました。現在は、ファッション、おしゃれととらえられているのではないのでしょうか。

僕が伸ばしている理由は高尚な意味は無く・・・。医師になって5年目位から、忙しいので、ひげを剃る時間は惜しいが、清潔な格好を保たなければならない。そこで、逆に「おしゃれ」として伸ばすことにしました。親は反対でしたが、これがまた一部の人には好評だったので、「これでいくっ♪」となりました。

インタビューを終えて…

田中学長は写真で拝見していた通りの穏和なやさしい方でした。学長という立場になられても、「私はまだまだです」というフレーズを何度か耳にしました。まだまだこれからも人として、学長として成長され続けているのだと、そんな方の元で教師になるための準備が出来るのは本当に幸せな事なのだと思います。

当初インタビューは1時間の予定だったのですが、気づけば1時間半近く経っていました。学長ご自身が大切にしておられる、傾聴と共感を沢山して下さいだったので、インタビューというのを忘れるくらい私自身の体験や感想も聞いてもらい、変な緊張感のない心地よい雰囲気でお話を聞くことができました。田中学長との時間は楽しく、教師になるにあたってのヒントを沢山頂きました。

田中雄三学長と話したいなと思った方は、**学長オフィスアワー（毎週金曜・12:15～12:45）**というのがあることをご存知でしたか？ポスターは掲示してあるのですがまだまだ認知されていません。田中学長も寂しがられていました。どんなたわいのない事でも、「ウェルカム！」とおっしゃっておられました。

ちなみに、学長オフィスアワーの目的は「多くの方々の意見を傾聴し、進化する学長をめざします。」です。

さあっ！あなたも田中学長とトークしましょう♪

インタビューを終えて、田中学長と



理事・副学長からのメッセージ



6人の理事・副学長から、学生のみなさんへのメッセージをいただきました。

大学生活全体で教員としての力量の形成を

理事・副学長（教育・研究担当）西園 芳信



現在、中央教育審議会の教員の資質能力向上特別部会では、教員の実践的力量を保証するための教員養成の在り方が議論されています。

教員に求められる実践的力量の中で中核となるものは、学校での授業を展開できる授業実践力と言えます。しかし、今日ではこれだけでなく、いじめや暴力、不登校、発達障害等、現代の社会を反映した様々な問題に対応

する能力や、子どもや同僚、保護者などに対応する社会性やコミュニケーション能力なども求められています。

これらの能力は、大学のカリキュラムを通して身に付けられるものもありますが、クラブ活動やアルバイト、ボランティア、或いは日頃の友人関係の中で身に付くものもあり、いわば、大学生活全体が教員としての力量を形成する場といえます。そのためにも大学生活を豊かな経験によって充実したものにすることが重要です。

『いないいないばあ』と『星の王子さま』を味わって何度も読む

理事・副学長（社会連携・国際交流担当）山下 一夫



皆さんに、是非、読んで欲しい本が2冊あります。

松谷みよ子・瀬川康夫『いないいないばあ』（童心社、1967年）と、サンテグジュペリ『星の王子さま』（1943年）です。

どちらの本も有名なので、すでに読んでおられる方も多いことでしょう。どちらもすぐに読めますが、出来るだけゆっくりと味わって読んで下さ

い。そして、10年後、20年後と、読み返してもらいたいのです。20歳の頃には分からなかった、新たな発見や喜びがあります。子どもの心と大人の知恵を大切に、かけがえのない関係を結ぶことが、いかに人生において素晴らしいことか、分かることでしょう。なお、拙著『カウンセリングの知と心』（日本評論社、1994年）の中で、『星の王子さま』について述べています。こちらも読んでいただければ幸いです。

今こそ、「チャンス」「チャレンジ」「チェンジ」を

理事・副学長（予算・施設担当）清水 勇行



最近、留学を希望する学生が減っているそうです。不況の影響、厳しいことに挑戦しないこと、目の前の就職を優先するなど、減少の要因にも変化があるようです。国際化が叫ばれて久

しい日本ですが、ガラパゴス化に拍車がかかり、大変憂慮すべき状況であると考えます。これから迎える少子化の中で、日本の将来を担う子供たち

に何を教え、伝えていくかが大変重要な課題であり、これを乗り越えて行くことが、今、教員を目指す皆さんの大きな役割となってきます。そのために、留学が全てとは言いませんが、是非、この学生時代というチャンス（C）に意欲的に海外にチャレンジ（C）して、固定化した価値観をチェンジ（C）して欲しいのです。この経験は、皆さんの大きな財産となりますし、きっと子供たちにも伝わるものと信じています。



教師を志すものへの道標(みちしるべ)“一隅を照らす人間たれ”

副理事・副学長(外部資金担当) 草下 實



こどもたちへの“無償の愛”と教師への“畏敬の念”は、もはや化石となってしまったのだろうか。私の大学での師は、私共へ常に二つの重要な言葉を伝えられた。一つは“男子たるものKnightたれ”, 騎士道の精神はご婦人やこどもを守り、また、私(わたくし)を捨て公(おおやけ)に生きてこそ達成できるもの、これは人間が人間

であるためのマナーに起因する。また、人は光り輝く舞台にばかり目を向け、己の生き場所とする傾向にある。人がこの世に生きる意味は天命を背負っているからであり、光のあたらず所に“天命(成すべきこと)”あり、また、それを見つめようとする眼差しだけに映るものである。特に教師となるものは“一隅を照らす人間たれ”が、師が与えてくれた私自身の教師への道標(みちしるべ)となっている。

主体的・創造的な大学生活を期待する

副学長(学生支援担当) 大石 雅章



かかわっているともいえよう。社会人としての幅広い教養を養い、物事を的確に分析し判断する能

大学時代は、小学生以降の長い学習の段階から社会を支える成人へと飛躍する人生の節目の時期である。人生が魅力あるものとなるかどうかは、少なからず大学生活をいかに過ごすかにか

力を身につけ、将来の職業を見据えて専門的な能力を習得することが重要である。また生涯の友というべき友人を得ることも大切であろう。そのためには、大学の授業はもちろん、クラブ活動や読書など興味あることに積極的に取り組んでもらいたい。大学生活は、主体的に創造的に過ごすことが肝要である。そのような大学生活を応援し支援していきたい。

届け全国へ！ 鳴教大の魅力

副学長(入試企画担当) 賀川 昌明



つ着実に実施することです。

本学はやがて設立30周年を迎えます。私も自分が所属するコースがスタートして以来勤務してい

今春から入試企画担当の副学長を命じられました。私の主な仕事は、本学大学院に全国から数多くの学生さんに来ていただくための企画を立てて実行すること、大学院の入学試験を公正か

ますので、かれこれ27年ほど鳴門教育大学に勤めています。この間、教育・研究組織や学生数に様々な変化はありましたが、この鳴門教育大学ほどすばらしいところはないと今も強く思っています。このすばらしさを全国に伝え、一人でも多く本学大学院に来ていただくため、精一杯の努力をして参りたいと思います。皆さんにも是非ご協力いただき、あらゆる分野で鳴教大の魅力が発信できることを期待いたします。

もうすぐ
大学祭
つな
27ごう手と手 鳴潮祭
めい ちょう さい
～手と手をつなげばなんとかなルト～

◆ 大学祭実行委員会委員長 梅井 朋子

みなさんこんにちは！このたび、第27回鳴潮祭の実行委員長を務めさせていただくことになりました梅井朋子です。今年の鳴潮祭は11月12日（金）～14日（日）に行われる予定です。今年のメインテーマは、



に決定しました！！

このテーマは、今回の鳴潮祭が27回目なので「27」という数字を「つな」と読むことで、かけあわせて「27ごう」という言葉をつくり、みんなで協力して楽しい鳴潮祭にしたいという気持ちもこめて考えられたものです。

さて、みなさんはこの「鳴潮祭」に対してどのような気持ちを抱いているのでしょうか。去年は4年生の多くの方は、実習と期間が重なってしまい参加することができず、とても残念でしたが、今年の実習期間と日程がずれているということで、4年生の方々が大いに鳴潮祭を盛り上げてくれることを期待しています。2年生、3年生の方々は2回目、3回目の鳴潮祭になるので一人ひとりが鳴潮祭に対して「楽しみ！」「今年の企画は何をするんだろう」「大変だなあ」など様々な意見を持っているのではと思います。そして1年生は今年が初めての大学祭となるので、はっきりしたイメージはないと思いますが、鳴潮祭のメイン企画である「かくし芸」などで力強いパワーを発揮してくれることを願っています。

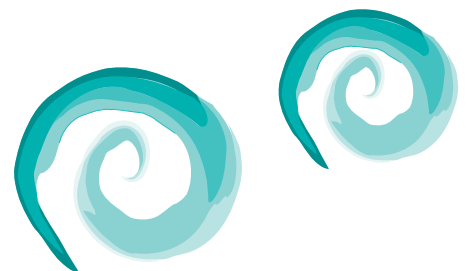
現在、実行委員会では去年より、いっそう楽し

い鳴潮祭を目指して日々奮闘中です。これまで実行委員を経験したことのある先輩方からアドバイスをもらい試行錯誤しながら鳴教ならではの企画を計画しています。

しかし、鳴潮祭はみんなで作り上げていくものです。出来るだけ学生のみなさんの意見を取り入れて素晴らしい大学祭にしたいと思います。これから学生のみなさんにも協力してもらおうがあると思いますが、そのときはよろしく願います。

みんなで力を合わせて
思い出に残る鳴潮祭にしましょう！！

〈小学校・技術 2年〉



第27回鳴潮祭実行委員の13人を紹介します!!!

この13人のメンバーはもちろん、1年生の実行委員44名の力も借りながら第27回鳴潮祭の成功に向けて精一杯、準備に励んでいます。

仕事はスポンサーの依頼まわり・ゲームやライブの企画・大道具の作成など多岐にわたっています。まだまだ頼りない13人ですが、努力を惜しまず頑張りたいと思っていますのでみなさまのご協力とご理解をお願いいたします。

三役



委員長 梅井朋子

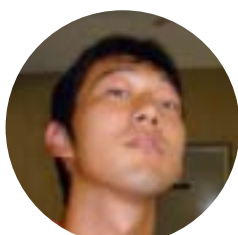


委員長補佐 齊官研斗



会計 矢野由姫

企画



板東康行



佐伯万里亜



矢野将啓

広報



荒木萌美



小池祥子



置塩沙織



北畑明日香

模擬店



笹田直紀



中井雄揮



大津大祐

熱戦 第61回四国地区大学総合体育大会

第61回四国インカレは、香川大学を主管大学として香川県内各会場で開催され、7月4日（日）すべての競技を終え、閉会しました。本学からは14種目に18団体総勢256人（男子169人、女子87人）の選手団、その他関係者が参加し、熱い戦いを繰り広げました。

期間中、天候に恵まれず、残念ながら硬式野球は2日目以降雨天中止となりました。また、水泳・陸上・サッカーは激しい雨の中、競技が行われました。その他屋内競技も、湿気や暑さとの戦いでした。

そんな中、県外にもかかわらず、応援に駆けつけた友人達の声援を受け、選手は精一杯戦い、総合成績では、男子が前回より2位順位を上げ、7位、女子は前回と同じ9位と健闘しました。

成績

総合 男子7位、女子9位

種目別（3位以上） ラグビー準優勝
男子バスケットボール準優勝
女子バスケットボール3位
水泳（女子）3位



個人等（3位以上） 【水泳】 金 澤 健 司 男子400m個人メドレー第1位、200m自由形第3位
上 田 裕 貴 女子100m平泳ぎ第2位、50m平泳ぎ第2位
小 池 祥 子 女子50m自由形第2位
福 良 祐 香 子 50mバタフライ第1位、女子100mバタフライ2位
女子200リレー第3位、200mメドレーリレー第3位
【陸上】 廣 田 愛 実 里 走り高跳び第2位
木 村 有 彩 走り高跳び第3位
女子4×100mリレー第3位



結団式・壮行会

大会に先立ち、6月23日（水）本学選手団の結団式が行われました。

選手団団長 大石雅章副学長
決意宣言 大石藍子（剣道部主将）
旗手 保海泰地（柔道部主将）
学歌斉唱協力 合唱団“tadpole”
壮行会進行協力 学生会



体育館での結団式の後、食堂で壮行会を行い、各チーム代表から大会に向けた抱負が発表されました。



熱戦 第61回四国地区大学総合体育大会

熱戦を振り返って

硬式野球

1回戦は、7回コールド勝ちで勢いにのるも、2回戦以降雨天のため中止。残念。



サッカー

3位決定戦で、惜しくもPK戦で敗退(4-5)し、今年は4位。



男子バレーボール 男子 対高松大学



女子バレーボール 女子 対徳島大学



柔道

部員獲得に悩むも、何とか団体戦出場



剣道

予選リーグ突破ならず…次回に期待。



硬式テニス

男子 対聖カタリナ大学



女子 対香川大学



熱戦 第61回四国地区大学総合体育大会

ハンドボール 男子 対香川大学



女子 対愛媛大学



バドミントン

部員獲得に悩む他部を尻目に、多くの新入生を獲得した同部、他大学に負けない声援を背に、奮闘。



「先輩つ ファイトー！」



陸上競技 女子は総合4位と健闘。



ダンス

『Trump (トランプ)』 無邪気に遊ぶ子どもたち。
そして、子どもたちのいない間に広がる
「赤と黒の織り成す世界」

弓道

男子団体は決勝リーグ進出



女子バスケットボール

準決勝戦、一瞬勝利も見えたが残念ながら前回同様3位。来年こそ！



熱戦

第61回四国地区大学総合体育大会

水泳競技

上位入賞者も多く、特に女子団体は、総合第3位となった。



準優勝

ラグビー

ここ数年準優勝が固定化。今年こそ優勝を！昨年の覇者「松山大学」に挑んだが、やはり壁は厚く、今年も準優勝。来年こそ！期待したい。



男子バスケットボール

準決勝の相手は、昨年敗れた高知大学、雪辱を晴らし勝利。決勝戦は、さすがに簡単には勝たせてくれなかったがこの勢いを来年に！



〈選手団団長の一言〉

全力で勝利を目指して澁刺とプレーする鳴教大生の姿に、思わず応援にも熱が入りました。小規模大学でありながら、チームワークを発揮しての、男子総合7位、女子総合9位の成績は素晴らしいものです。

来年に向けて、さらに前進することを期待しています。

副学長 大石 雅章

課外活動 サークル紹介

It's “書” time !!

◆ 書道部 津村 彩花

「自分の名前くらい上手に書けたらな。」
そんなふうに思ったことはありませんか？私たち書道部では名前をはじめ、ひらがな、漢字といった日頃からよく使う字を練習しています。書道といえば筆のイメージですが、私たちは鉛筆やボールペン、筆ペンなどさまざまなものを使って字を



書いています。また、黒板に字を書く練習もしています。実習や教師になって、授業をするときにきれいな字を書けるように今のうちから特訓中です。「あ」をきれいに書く、黒板に整った字を書く、などそれぞれに目標をもちながら、いろいろな書に親しんでいます。

活動は月曜 18 時から 20 時まで、部員約 20 名で行っています。一人ひとりが集中し、自分の字と向き合う時間。「この字うまく書けた！」「この漢字の書き順ってどうだっけ？」などみんなでおしゃべりする時間。このような楽しく笑顔いっぱいの時間をみんなで過ごしています。

実はこのような活動を始めたのは今年度からで、毎回試行錯誤中です。みんなで話し合ってやりたいことを決めながら、新しいことにどんどん挑戦しています。

ぜひ、私たちと一緒に書を楽しみましょう！

<幼児教育 4年>

Our 踊り♪

◆ 阿波踊りサークル 三谷 友里江

こんにちは。阿波踊りサークルです。

サークルメンバー（連員）は院生が多いですが、学部の学生も一緒に楽しく練習しています。夏のシーズン中心に活動することが多く、今年も8月10日は鳴門で、8月12、14、15日は徳島市で踊りました。

今年は南内町演舞場や藍場浜演舞場など、多くの有料栈敷でも踊ることができました。踊る以外にも合宿で海水浴などの活動をするなど、“楽しむ”をモットーに院・学部関係なく、阿波踊りを楽しんでいます。



観るよりも踊るほうが絶対に楽しいです。

せっかく徳島に来たならば！

踊らにゃそんそん！

ぜひ、一度来てみて下さい。

暑い夏を過ごしましょう。

<小学校・国語 3年>

課外活動 News

学部体育祭

6月13日(日)毎年恒例の「学部体育祭」が開催されました。体育科・保健体育科教育コースの2年生が運営をし、参加者は学部1年生です。

2年生は、プログラムの円滑な進行、司会、事故などが起こらないようにとの気配り、もちろん盛り上げるためのパフォーマンスも欠かしません。この伝統は、今回参加する側だった1年生にも引き継がれていくことでしょう。



▲「僕と腕相撲」



▲「みんなでジャンプ」



▲「マスコット」(…?)



▲「ガチリレー」

学内公演

サークルの紹介や成果発表の場として、学内では、いろいろな公演が行われています。



▲軽音楽部(体育館前)

▲ダンスサークルN・S・D(体育館)

合唱団“tadpole”, 軽音楽部, 吹奏楽団Cantabile, ダンスサークルN・S・D など、昼休みに行うため準備・片付けなどが大変ですが、多くの人に見て欲しいと頑張っています。

☆公演を行う場合は、学生課に届出が必要です☆



院学生会ソフトバレーボール大会

6月6日(日)院学生会主催ソフトバレーボール大会が開催されました。大学院各専攻・コース等から34チームが出場し大いに盛り上がりました。



各チーム趣向を凝らしたTシャツを準備、気合い入ってマス。全部をご紹介できないのが残念です。

課外活動に関する注意事項

1 学生のみなさんには、課外活動を活発に行っていただきたいのですが、**正課活動(授業等)があつてこそその課外活動**です。大会等と授業・試験、どちらが重要か、各自でよく考えてください。

「大会だから授業を欠席して当然」ではありませんし、大学には「公欠」という制度はありません。

また、四国インカレ以外の大会は、追試験の申請理由として認められません。

2 課外活動を行う際には、必ず手続きを行ってください。(詳細は学生課で確認してください。)

- ・学外の大会、イベント等に参加する場合・・・「学外団体加入等願」
- ・行事、集会等を開催する場合・・・「集会開催許可願」
- ・文書の掲示・配布・・・「文書等掲示許可願」、「配布行為等許可願」

ようこそ鳴門へ～新任教職員の横顔～

◆ 自然・生活系教育部（生活・健康系コース（技術・工業・情報））

教授 畑 中 伸 夫



今年度4月に、生活・健康系コースに着任しました。昨年度までは阿南工業高等専門学校で機械工学を教えていました。さらに、その5年前までは京都市立伏見工業高等学校で機械科の教諭でした。いずれの勤務先においても、将来エンジニアとして活躍するために必要な専門教育

としての機械工学を教えてきました。

鳴門教育大学では、エネルギー工学、流体工学、計算法学などの講義を担当しています。専門性の高い科目であり、将来皆さんが、教育現場に立った時に少しでも役立つような授業内容にするため、現在模索しています。より良い教育を進めるため、今後も努力していく所存であります。

よろしくお願ひします。

◆ 予防教育科学教育研究センター 准教授 佐々木 恵



この4月に予防教育科学教育研究センターに着任致しました、佐々木恵と申します。大学院時代を鳴門教育大学で過ごし、数年間の名古屋での教育研究活動を経まして、久しぶりにこの地に戻って参りました。これまでは、人々のメンタルヘルスに影響を与

える要因に関する心理学的研究や、臨床心理士としての臨床活動に従事してきました。現在、予防教育科学教育研究センターでは、子どもたちの健康と適応を守るための学校教育プログラムの開発に日夜勤しんでいます。

当センターのミッションを果たせるよう尽力して参ります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

◆ 基礎・臨床系教育部（授業実践・カリキュラム開発コース）

准教授 前 田 洋 一



4月より、教職大学院授業実践・カリキュラム開発コースを担当しております。これまでは、福井県で小中学校や教育委員会で勤務しておりました。私自身も在職中に大学院で、学ぶ機会を得ることができました。その時の人々との出会いや学んだことが現在も教職人生の大きな礎となっています。

持って入学して来られます。それを真摯に受け止め、共に課題解決に取り組んでいきたいと思ひます。

また、スーパールーキーの方からは、若さと情熱の刺激を受け、変化に対応しつつも教育の不易の部分の大切を伝えていきたいと思ひます。そして、みなさんと一緒に「子どもたちを幸せにする教育」の実現を目指したいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

この大学院で学ぶ現職の方は、明確な課題を

ようこそ鳴門へ～新任教職員の横顔～

◆ 人文・社会系教育部（社会系コース） 講師 井上 奈穂



今年4月に社会系コースの講師として着任いたしました井上奈穂です。

大学・大学院まで鹿児島で過ごし、熊本での教員生活、広島での学生生活を経て、鳴門にやって参りました。鳴門教育大学で新しいスタートを迎えることができたことを非常にうれしく思います。

昨年度までは、学校現場での教育実践を踏まえ、社会系教科、特に公民的分野における学習評価について研究をして参りました。今後は、これまでの研究の成果と小学校、中学校、高等学校で積み重ねてきた教育実践を整理し、さらに発展させることが当面の大きな課題です。精一杯努めて参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

◆ 予防教育科学教育研究センター 講師 内田 香奈子



4月より予防教育科学教育研究センターの講師に着任致しました、内田香奈子と申します。本学の修士・博士課程を修了後、同センターの研究補佐員として勤務させていただきながら、県外の大学にて講義を担当しておりました。専門は学校心理学です。

センターでは、県内外の小・中・高等学校にお

いて、予防教育プログラムの開発と実践に携わっております。現場では児童生徒のみなさんとのやりとりを楽しみつつ、大学に戻っては、実践と理論面との折り合いをどのようにつけるのかということに自問自答する日々を過ごしております。

これまで、お世話になりました先生方や皆様とともに勤務させていただくことに緊張を覚えますが、尽力したいと思っております。今後ともどうぞよろしく願い申し上げます。

◆ 基礎・臨床系教育部（臨床心理士養成コース） 講師 小倉 正義



今年の4月に臨床心理士養成コースの講師として着任いたしました、小倉正義と申します。和歌山で生まれ育ち名古屋大学で学部から大学院時代までを過ごし、

3年間勤務をして鳴門にやってきました。鳴門は故郷の匂いがする本当に素敵な町で、まだ住み始めてから半年間しかたっていませんが、とても居

心地のいい感じがしています。

臨床心理学という学問を研究してきて、本当に人の心の奥深さを感じさせられる日々を過ごしています。自分が研究したこと、感じてきたことを少しずつ鳴門教育大学の学生のみなさまにも伝えていくことができればと思っています。今までの、そしてこれからの一つ一つの出会いを大切に、この地で頑張ります。

ようこそ鳴門へ～新任教職員の横顔～

◆ 自然・生活系教育部（生活・健康系（家庭）コース）講師 速水 多佳子



今年1月に生活・健康系コース（家庭）に着任しました速水です。これまでは、兵庫県で高等学校家庭科教諭として勤務し、その後県立教育研修所の指導主事として初任の先生方の研修を担当していました。これからは、将来先生となられるみなさんと一緒に

させていただくことになります。

また、長期履修学生支援オフィスのスタッフとしても院生のみなさんと関わることになります。

私のこれまでの教育現場での経験を生かし、教育実践研究はもちろんのこと、みなさんが素晴らしい教員としての資質・能力を身に付けられるよう尽力したいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

◆ 人文・社会系教育部（言語系（英語）教育コース）講師 眞野 美穂



はじめまして。4月から言語系コース（英語）の英語学担当講師として着任いたしました眞野美穂と申します。鳴門とは橋で結ばれた淡路島の出身で、鳴門には昔から何度も訪れていたためか、懐かしく安心できる気持ちがあります。鳴門教育大学では、様々な背景や知識を持った学生や教職員の方々か

ら日々刺激があり、一緒に学びながら成長していけたら、と思っています。

専門は、言語を比較し（日英語中心）、その共通点や相違点から言語の特徴を探っていく対照言語学・類型論という分野で、言葉の不思議や面白さを感じながら、研究や授業を行っています（言語だけではなく、様々な国の食べ物も大好きです）。研究教育に精一杯励みたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

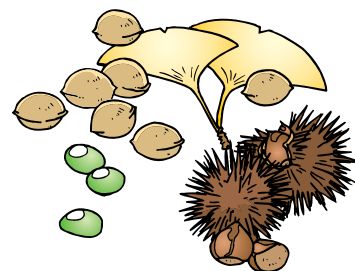
◆ 基礎・臨床系教育部（幼年発達支援コース）助教 吉田 耕平



幼年発達支援コースの吉田耕平です。今年度、木村直子講師の育児休業を補うため、社会福祉論Ⅰ・Ⅱ、児童福祉論、養護原理、施設実習など福祉領域の講義・演習等を担当しています。昨年度までは、徳島県の児童養護施設で児童指導員（保育士）として就学前から18歳までの子どもたちの養護にあたっていました。

講義では、これから保育士を目指す学生に向け

て児童養護施設の実践や現状などを伝えることができると考えています。また私自身も鳴門教育大学という恵まれた環境の中で、児童福祉について研究を深めていきたいと思っております。1年間だけですが、どうぞよろしくお願いいたします。



～学生相談窓口紹介～



不安・・・，何か話したい・・・，そう感じたとき一人で悩まないで誰かに話しを聞いてもらいましょう。相談の秘密は厳守しますので，自分が相談しやすい窓口を気軽に利用してください。お話を伺って，より適切な相談窓口の紹介も行います。



【心身健康センター【本部棟1階】】

* 身体面について相談したいとき

けがや病気など身体のことでの心配がある人は，健康相談が受けられます。必要に応じて，検査や応急の治療を行います。当センターで対応できない場合，医療機関に紹介します。

- 日 時：月～金曜日 10時～16時
- 担当医師：廣瀬政雄（心身健康センター所長）

* 心理面で相談したいとき

不安や悩みなど，心理的なことで心配がある人は，心理相談が受けられます。修学上または生活上の問題を初めとして，どんな小さな問題や心配ごとにも心おきなく相談を受け，解決への糸口を見いだしてもらいたいことを願っています。

- 要 予 約 心身健康センター 088-687-6631
- 日 時 本学担当教員への相談：随時
カウンセラーへの相談：水・木曜日（12時00分～17時00分）

【学生総合相談室（本部棟1階・学生課学生生活支援チーム）】

「なんでも相談」の窓口です。学生生活についての疑問や，どこに質問したらいいかわからない時など，気軽に利用してください。

- 相談の受付 面接，手紙，電話（088-687-6118），メール（gakusei@naruto-u.ac.jp）
- 担 当 者 アドバイザー（本学教員5人）又は事務職員

※メールでご相談される場合は，学籍番号，氏名等を明記してください。

【ピア・カウンセリング（人文棟4階）】

「ピア（peer）」という言葉は，「仲間」という意味で，本学のピア・カウンセリングは，大学院生が学部学生の学習・生活上における悩み解決を支援する学生相談制度です。鳴教大の先輩であり，カウンセリングの基礎を学んでいる大学院生が相談にのってくれます。専門の教員がバックアップしますので，安心してご利用ください。

相談したい場合は，第2心理テスト室（人文棟A 409）前に設置の「ピア・カウンセリング相談BOX」に相談用紙（BOX横）を投函してください。

【その他の相談窓口 履修，就職のことなど，分からないことは，とにかく聞いてみよう！】

- 教務課（本部棟1階）…修学（履修，単位取得，教員免許状，教育実習等）に関する相談
- 就職支援室（講義棟1階）…教員採用試験及び就職活動に関する相談，指導
- クラス担当教員又は指導教員

たばこ規制枠組み条約と敷地内禁煙

◆ 心身健康センター 所長 廣瀬 政雄



たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約は、通称、たばこ規制枠組み条約とよばれ、条約締約国がたばこの規制のための措置についての取り組みを行うためのものです。たばこの消費及びたばこの煙に晒されることが健康、社会、環境及び経済に及ぼす破壊的な影響から現在及び将来の世代を保護することを目的とした条約とされています。この条約は、世界保健機関（WHO）が加盟国に対して、たばこによる健康被害を食い止めるために、たばこ製品の広告、密輸及び健康被害に対して、各国が共通した政策をとることを求めています。

2001年の世界保健総会で条約が可決され、2003年に世界保健機関第56回総会で全会一致で採択されたものが2005年に発効しました。公衆衛生分野で初の国際条約であり、締約国はたばこ消費の削減に向けて、広告・販売への規制と密輸対策が求められることになりました。2007年には、第2回締約国会議において、「たばこの煙に晒されることからの保護に関するガイドライン」を2010年2月までに実行することが満場一致で採択されました。これにより日本を含む締約国は、公共の場での受動喫煙防止対策を実施することになったものです。

たばこの煙中にはおよそ4,000種類以上の化学物質が含まれていると言われており、そのうち少なくとも200種以上は有害作用を有するとされています。その中にはnitrosoamine類やbenzo(a)pyrene等に代表されるような発がん物質が含まれており、肺がん、食道がん及び口腔が

ん・中咽頭・喉頭がん等の主要な原因となっています。

発癌性以外にも、ニコチン中毒、自律神経系に対する影響、心血管や脳循環の障害及び動脈硬化等に悪影響があることが知られています。長期間の喫煙による呼吸器系への悪影響としては、肺機能の低下やガス交換機能の低下による動脈酸素分圧の低下等が認められるとともに、慢性気管支炎、肺気腫等の慢性閉塞性肺疾患など様々な呼吸器疾患の原因になります。全く関係がないように思えるインスリン非依存性糖尿病についても、喫煙により有意にリスクが高まり、糖尿病の合併症として起きる腎症の発症とも関連があると言われていいます。1995年には、わが国では約9.5万人が喫煙と関連した疾患により死亡したと推定されており、これは同年の自動車交通事故による死亡者数（約1.5万人）を大きく上回ったと言われてい

ます。自分の意志とは無関係にたばこの煙にさらされ、それを吸わされる受動喫煙によっても、肺がん、虚血性心疾患等の疾患のリスクを上昇させることが明らかにされましたし、胎児や乳幼児に対しても、乳幼児突然死症候群の危険因子となりうるということが報告されています。

平成14年に制定された健康増進法で分煙が求められ、禁煙コーナーなどを設けるような方針が出されましたが、分煙対策では不十分であることは明白で、そのため、全面禁煙が求められるようになりました。医学部付属病院などが早くから敷地内禁煙に取り組んでいます。教員養成系の大学

においても同様の措置がすでにとられているところもあります。鳴門教育大学でも平成15年11月に建物内禁煙を実施し、屋外に喫煙コーナーを設けて分煙対策を行いました。平成22年7月1日からは敷地内禁煙を実施することになりました。教員になる学生が喫煙の習慣をつけないで卒業してゆくことは、本人の健康のためにも、次世代の

健康教育に関しても大きい意義をもつものと考えられます。

本学では、タバコの煙のない学習環境の整備と喫煙しない学生の育成を目指し、次のとおり「ノースモーキング宣言」を発しました。

ノースモーキング宣言

～タバコの煙のない学習環境の整備と喫煙しない学生の育成～



本学は、健康増進法に基づく受動喫煙防止の趣旨を踏まえ、学内の各種委員会において、受動喫煙防止における対応について検討してまいりました。

委員会においては、学外からの利用者も多く喫煙スペースを設けるに当たり適切な場所が見つからないこと、受動喫煙の防止だけではなく喫煙者へのサポートも併せて取り組むべき等のご意見がありました。

これらのご意見を踏まえ、本学は将来教員を目指す学生に喫煙習慣を身に付けさせないことを目指し、平成22年7月1日から「敷地内全面禁煙」とし、ここにメッセージを発します。

① タバコの煙のない、学習環境を整えます。

② 喫煙しない学生を育成し、社会に送り出します。

【禁煙サポート】

学生及び教職員の喫煙者は、平成21年度の調査によると約17%にのぼっており、「敷地内全面禁煙」が円滑に進むよう喫煙する学生及び教職員に対する禁煙サポートを行ってまいります。

○相談窓口の設置

・心身健康センター内に相談窓口を設置し、適宜対応します。

連絡先：心身健康センター 088-687-6631

平成22年6月30日 鳴門教育大学長 田中 雄三

特別支援学校

交流で阿波踊りに挑戦！！

この夏、本校では阿波踊り期間8月14日の夜に徳島青年会議所・県立徳島科学技術高校生徒会・天保連の協力により、南内町演舞場で本格的な阿波踊りを体験しました。鳴り物担当を入れ、総勢



◆ 附属特別支援学校 加藤 浩

約100名が演舞場に踊り込みました。

本校からは児童生徒・職員合わせて20名余りが参加しました。7月半ばから、本校体育館で毎木曜日、夕方に練習を行い、計6回ほど暑い中、汗を流しました。

この活動は、県立徳島科学技術高校生徒会との交流がメインであり、本校の参加児童生徒一人ひとりに高校生二人以上がチームやペアとして交流しました。初め、関わり方にとまどっていた高校生たちも回数を重ねる内に自然と交流ができるようになりました。法被のデザインは自分たちの手のひらをスタンプしたものをハート型に描きました。今後も、このような交流を続けられたらと思います。

幼稚園

身近な自然とのかかわりの中で

夏、園庭の草花や木々などにダンゴムシやチョウ・アリ、そしてセミなどの小さな生き物たちが今年もたくさん見られます。また、家の近くで見つけたサワガニやオタマジャクシ・アオムシなどを連れて登園する園児もいます。そんな小さな生き物たちが大好きな4歳児は、名前をつけた話しかけたり、毎日その成長や動きを楽しみにしたりしています。少しずつ変化していく様子をつぶさに観察し、友達や保育者に伝えたり、図鑑で調べてみたりします。

でもやはり、自分で捕まえてみたいという思いが一番で、虫取り網と飼育ケースを持ってはりきって保育室から飛び出して行きます。ある園児は、登園後すぐに「今日はセミをつかまえるよ」と園庭に出て、桜の木の幹や枝をじっと見つめています。汗いっぱいかきながら木を見上げている姿に、何とか捕まえてみたいという思いがひしひしと伝わってきます。セミの鳴き声に包まれながら園

◆ 附属幼稚園 濱本 薫

児も保育者も一緒になって見つめます。うまく捕まえられたり逃したりするので、いろいろな思いが交錯します。夢中で生き物を追いかけたり捕まえたり、そしてそれらを手に取って見てじっと見つめたり…。そんな時間の中で園児は、感動したり驚いたりして、自然の美しさや不思議さなどを感じています。



小学校 教育実習生の後ろ姿を見送りながら

◆ 附属小学校 藤 島 小百合

「子どもたちの顔を見たら疲れを忘れます。」
「子どもたちの日記にコメントを入れるのが幸せな時間です。」

残暑とは言い難いような日差しが降る9月6日、暑い運動場で教育実習生の紹介式が行われ、主免実習が始まりました。

小学校では、子どもたちが帰る4時半まで、片



時も子どもたちから離れることはできません。授業準備・実習録のまとめなどで、実習生の睡眠時間は2～3時間もあるでしょうか。その「先生」に向かって、子どもたちは「鬼ごっこしましょう。」「いっしょにサッカーしてください。」と声をかけ、熱い空気がまとわりつく運動場へと引っ張るのです。

指導教員として、厳しく叱責することもあります。実習録には、感謝のことはや冒頭のようなことが綴られています。

指導しながら、真摯な態度、真剣なまなざしに学ぶことも多い教育実習です。この実習で少しでも多くのものを得て、すばらしい教師になってくれることを願い、午後7時、真っ暗な校門で、後ろ姿に頭を下げる思いで、彼らを見送っています。

中学校 全国中学校ソフトボール大会

◆ 附属中学校 島 尾 裕 介

本校ソフトボール部は、本年度、徳島県総体で優勝し、四国総体では第3位となり、8月20日から広島県尾道市で開催される全国大会の出場切符を手に入れた。これで、全国大会には2大会連続5度目の出場となった。

全国優勝をめざして、酷暑のなか夏休みもほとんど休みなく練習を続けた。しかし、結果は1回戦1-9で5回コールド負け。相手の御調中学校は、中国ブロック1位の強豪で、しかも地元尾道市の学校ということもあり、相手に優位に試合を進められてしまった。2年連続の全国大会でともに1回戦敗退。全国の壁を破ることができなかった。

子どもたちは勝ちにこだわり、最後まであきらめずプレーすることができた。負けて悔しい思いもしたが、それも部活動のよさであり、よい思い

出である。そして、何より部活動を通して、仲間との絆を深め、社会性を養い、精神力を鍛えることができた。また、監督、教師として私自身も成長させてもらえた有意義な大会であった。

そして今、1・2年生は、先輩たちの残した軌跡を胸に3年連続の全国大会出場をめざし、新たなスタートを切った。



アフガニスタンに来て思うこと

◆ 森 まどか

(平成18年3月修了・言語系(国語))



バーミヤン空港で、石窟をはるか後方に眺めながら(中央が筆者)

私は今、アフガニスタン国の首都カブールに來ています。アフガニスタンと聞くと、皆さんはどんなことを思い浮かべるでしょうか。メディアでは殺伐としたニュースばかりが報道されていますが、實際に來てみると、メディアで見ていたのとは異なる日常の穏やかな風景があちこちに広がっています。

私は鳴門教育大学大学院を修了した後、青年海外協力隊隊員として、中国の内モンゴルで日本語教師をしていました。2年の任期を終えた後、大学院時代の恩師小野由美子先生からの紹介もあり、政府開発援助(ODA)を中心とする開発途上国支援事業を手掛けている東京のコンサルタント会社に就職することとなりました。就職後はエジプト国で学校保健プロジェクトに携わり、研修企画担当として主にパイロット校20校の学校医・学校看護師・教師などを対象としたワークショップの準備、実施支援などを行っています。そして、今年度からアフガニスタンの識字教育強化プロジェ

クトにも関わることとなり、不思議なご縁もあって、今回の出張では小野先生とアフガニスタンで一緒にお仕事をさせていただきました。

8月下旬から計10日ほど、アフガニスタンの東部に位置するジャララバード市と北部に位置するマザリシャリフ市に地方出張をしてきました。パイロット地域となっている両市における識字教育の現状を調査するというのが主な目的であり、識字教育関係者へのインタビューと識字教室の見学を行ってきました。教科書やノートが不足している、女性が識字教室に通うことに対する家族からの理解を得るのが難しいなど、さまざまな問題はありますが、その中でも学習者が真剣にかつ楽しそうに学んでいること、そして先生が誇りをもって教えている姿が大変印象的でした。アフガニスタン国は長い内戦により、成人識字率が34%程度と推定されており、男女別、また地方と都市部の格差も大きいとされています。安全上の理由により、日本人が行くことのできる場所はかなり制限されていますが、その中で私たちにできること、そして彼らが私たちに対して望んでいることは何なのかと考えさせられました。

アフガニスタンに來てまだ1ヶ月と少し。そして、プロジェクトも始まったところなのですが、アフガニスタンは理解するには長い時間のかかる、とても奥深い国だと感じています。海外に來ていつも思うのは、百聞一見に如かずということです。實際に見てみないことには現状はよく分かりませんし、見てみるとイメージが大きく変わることも少なくありません。皆さんも海外に目を向け、海外の教育について一緒に考えてみませんか。



マザリシャリフ市識字教室(女性クラス)の様子



NGO責任者へのインタビューの様子(手前が筆者)

国際交流



外国人留学生見学旅行に参加して

北の脇海水浴場 橘湾石炭火力発電所



◆ 教員研修留学生 ヨハナ ニタ スサンティ Yohana Nita Susanti (インドネシア)

今回の旅行を通して、新しい経験と友人を作ることができ、楽しむことができました。

北の脇海水浴場での、地引網体験はとてもよかったです。網はとても重かったですが、みんなで協力し、とれた魚を見ると一気に疲れがとれました。

次の目的地である「Jパワー」は日本で2番目に大きい電力会社であり、よい経験となりました。環境にも配慮している、とても環境に優しい会社でした。また、この発電所が、オーストラリアや私の国インドネシアから石炭を輸入しているということに少し驚きました。インドネシアでは、電力が不足し時々停電をすることがあり、電気の問題を抱えているというのに皮肉なことです。電力を節約する方法を日本から学ぶべきです。「Wa nderland」では、電気に関するゲームをし、楽しかったです。それは、物理を学ぶ良い方法でした。もし学校にもっと近かったら、発電所の場所もとても素晴らしかったので、物理だけでなく、地理学を学ぶために、学生を連れて来られるなと思いました。

大塚国際美術館

◆ 学校教育研究科 シーウィサイ スリポー SIVIXAY Souliphone (ラオス)

まずはじめに、このような機会を与えてくれたことに感謝します。今回の訪問を通して、まるで本物のような有名な作品を一度にたくさん見て学ぶことができました。

私の国、特に私が教えている学校では、校外授業は年に一度しかありません。それらは様々な科目に沿ったものであり、事前に学生たちのために質問事項や訪問目的などをきちんと準備します。訪問後は、今回と同様、学生たちにレポートを提出させます。

今回美術館を訪問したことで私が最も感銘を受けたことは、様々な有名な作品を鑑賞できたこと、日本の文化に触れることができたこと、そして様々な国から来た他の留学生たちと意見を交わせたことです。

帰国後は、今回の訪問で学んだこと、日本で学んだこと等を、教師や学生に伝えたいと思います。

<教科・領域教育専攻 国際教育協力コース M2>





EDO GBE NAMI LOO!!! (こんにちは)

◆ 国際学術研究員 Julius Kofi AGBEKO

あなたのことを教えてください。

I am Julius Kofi Agbeko from Ghana, a former student of Naruto University of Education; I am married with a son, Samuel Kodjo Agbeko, one and half. I had my first degree at the University of Cape Coast, Ghana majoring in Natural Science Chemistry. I then proceeded to the University of Ghana, Legon to pursue a Master of Philosophy in Environmental Science and graduated in March 2003. I was admitted to the Naruto University of Education as a foreign student under the Japanese International Cooperation Agency, from September 2003 to March 2006 to pursue a Masters in Science Education majoring in Chemistry.

ガーナ出身の Julius Kofi AGBEKO と申します。結婚しており一歳半になる息子がいます。ケープコースト大学で化学を専攻後、レゴンにあるガーナ大学で環境科学を研究し修士の学位を得ました。それから鳴門教育大学で2003年9月から2006年3月までの間、理科教育（化学）を専攻し修士学生として在籍していました。現在、ガーナのアクラ教育大学で教員をしています。この度 JASSO の帰国外国人留学生短期研究制度で日本に戻ってきました。

日本の印象はどうか。

Since I left Naruto four years ago, the beautiful scenes of Awa odori, the fireworks, my favorite sushi (raw fish), wasabi, the ferry boat, and all the wonderful and kind people of Naruto, have always been in memory back in Ghana. Am very happy to come and meet all these things again. The very hot summer with very high temperatures this year is a bit strange in Japan but I found it convenient because Ghana is a hot country.

4年前に鳴門を離れてから、阿波踊り、花火、大好きな寿司、わさび、渡し船そしてすばらしい鳴門の人々との思い出がいつもガーナで思い出されていたので、今回再びそれらに出会うことができとても幸せです。例年以上に高温多湿な日本の気候は異常に感じましたが、暑いガーナ出身の私にはうってつけでした。

何の研究をしているのですか。

The theme of my research was; *"Integrating Videos into lesson Planning and Presentation Process as a form of Teaching Learning Material, The Japanese experience."* In Ghana many students are increasingly finding the understanding of subjects with abstract concept more and more difficult and that, not all these concept can be demonstrated using real objects in the classroom. The teaching of such topics has become very difficult for most Ghanaian teacher. Hence our desire to learn from Japanese teachers how Video could be use to make the understanding of such topics simple for students at the basic level of Education. In Ghana I am a teacher trainer with the College of Education, Accra and our focus is to train and equip teachers with the requisite knowledge in the area of subject matter content and pedagogy.

今回の研究テーマは「ビデオ教材の授業計画及び授業実践への活用ー日本の経験から学ぶ」です。ガーナでは、抽象的な概念



の多くを具体物によって演示できないため、学生にとって概念を理解することが難しい状況にあります。したがって日本の教員が基礎教育段階の生徒にビデオを用いてどのように概念を理解させているかを知ることが研究のトピックです。教育大学の教員として研究成果を学生の教育に活用していきます。

国際交流



研究活動はいかがですか。

Meeting again with my former and very intelligent academic advisors has helped by way of reviewing my research activities, improving on techniques and developing new areas on pedagogy. During this period I have been able to access and make use of various research facilities and literature which were not easily available in my home country. With much appreciation, the program is very beneficial and appropriately planned.

すばらしい知識を持った先生方に再会し、研究活動の再調査、技術面の上達さらには教授法の新しい発展の手助けをしていただきました。この期間、私は母国では利用が困難であるたくさんの研究設備や文献を活用することができ、有益で適切に計画されたこのプログラムに深く感謝します。

受入れ教員である小澤大成准教授からのコメント

Julius Kofi AGBEKO 先生は、環境科学で多くの業績を挙げられています。今回はガーナで今後重要と考えられるビデオ教材の利用というテーマで研究を進めています。日本におけるビデオ教材利用の現状について、授業見学や教員へのインタビューを通じて明らかにする事で、ガーナの教育界への提言をまとめているところです。

「なんでやねん」の誕生 —外国人による徳島県日本語弁論大会に参加しました—

◆ 学校教育研究科 ^{チャン}張 ^{フエン}鋒 (中国)

弁論大会の申し込みの際、「スピーチテーマ」欄を書くのに困って、とうとう「なんでやねん」と書いてしまった。でも、こんなテーマにしたのには、まったく意図がないわけでもない。

私のスピーチは、日本人との壁を乗り越えるために私が使った、慣れない関西弁の「なんでやねん」について述べたものである。

「日本語うまいね」と善意で話しかけてくれる日本人に、「いえいえ、とんでもないです」のような型にはまった返事をしては、なかなか友人はできない。私は、このような場面で、多少の照れを含んだ「なんでやねん」を使うことで、相手に私の領域に踏み込んでいいよというサインを与えることに成功した。大会当日には、このような「なんでやねん」の効用について、面白おかしく伝えることができたと思う。

私が考える理想的なスピーチは、ある種の強烈な特徴を持ったものである。笑いを取ろうとするなら、最後までジョークに終始しないとイケない。笑い涙を両方取ろうと欲張ったら、どちらも中途半端になってしまう。恥ずかしがりやの私の場合、心の中で涙雨が土砂降りになっていてもふざけてしまうタイプなので、テーマから内容まで、とことん「なんでやねん」なものになってしまった次第である。

ただ、徳島県にいる五千人の外国人の日本語力の頂点を象徴するこの最優秀賞を、ご覧の通りの私がいただいているのか、いまだに恐縮している。

<教科・領域教育専攻 言語系コース (国語) M1>

全出場者 10 人のうち、本学から出場した学生 (3 人) が上位 3 賞を獲得しました。
最優秀賞 張 鋒さん
徳島県議会国際交流議員連盟会長賞 蔡 松姫さん
優秀賞 金 熿浄さん



2010 年度外国人による
徳島県日本語弁論大会において
最優秀賞受賞



台北市立教育大学と大学間交流協定を締結しました

平成22年9月3日に台湾の台北市立教育大学と鳴門教育大学が大学間交流協定（国際学術交流協定及び学生交流実施細目）を締結しました。台湾の大学との協定は、平成7年度に本学が海外の大学と協定を締結して以来、初めてのことです。

今後は積極的に学術や研究交流が始められるほか学生の交流も行われます。来年度の今頃、台湾からの交換留学生を見かけたら声をかけてあげてください。また、台湾に留学してみたい方は学生課国際交流チームへ問い合わせてください。

台北市立教育大学のデータ(2009年度実績)

創立	1895年7月
校長名	林天祐校長
組織	教育学部, 人文芸術学部, 理学部, 附属実験小学校など
設置	市立
教員数	245人
学生数	学部在校生 2,343人, 大学院在校生 745人 外国人留学生数 82人
周辺環境	台北市の中心街に近く活気のある大学
特色等	教育系では台湾を代表する大学で、国際交流を重視しています。
URL	http://w3.tmue.edu.tw/front/bin/home.phtml



調印式での記念撮影（前列向かって左側から、田中学長、林台北市立教育大学長）



国際交流



平成22年度 外国人留学生現員表

平成22年10月1日現在

国名	種別	修士			学部			教員研修			研究生			特別聴講学生			科目等履修生			計			
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
アジア	タイ			0			0			0			0	4	4			0	0	0	4	4	
	インドネシア			0			0		1	1			0			0			0	0	1	1	
					0			0		1	1			0			0			0	0	1	1
	韓国			2	2			0			0			0	1	1			0	1	2	3	
					0			0			0			0		0			0	0	0	0	
	中国		2	13	15			0			0	9	5	14		3	3			0	11	21	32
					0			0			0			0			0			0	0	0	0
ラオス		1	2	3			0			0			0			0			0	1	2	3	
				0			0			0			0			0			0	0	0	0	
台湾			2	2			0			0			0			0			0	0	2	2	
				0			0			0			0			0			0	0	0	0	
中近東	アフガニスタン		1	1			0			0			0			0			0	1	0	1	
				0			0			0			0			0			0	0	0	0	
アフリカ	ガーナ		1	1			0			0			0			0			0	1	0	1	
				0			0			0			0			0			0	0	0	0	
	ウガンダ			0			0	1	1			0				0			0	1	0	1	
マラウイ				0			0	1	1			0				0			0	1	0	1	
		1		1			0			0			0			0			0	1	0	1	
大洋州	フィジー			1	1			0	1	1			0			0			0	0	2	2	
					0			0	1	1			0			0			0	0	1	1	
中南米	パラグアイ			0			0	1	1			0				0			0	1	0	1	
				0			0	1	1			0				0			0	1	0	1	
ヨーロッパ	スウェーデン			0			0	1	1			0				0			0	1	0	1	
				0			0	1	1			0				0			0	1	0	1	
	ラトビア			0			0	1	1			0				0			0	1	0	1	
				0			0	1	1			0				0			0	1	0	1	
セルビア			0			0		1	1			0			0			0	0	1	1		
			0			0		1	1			0			0			0	0	1	1		
計		6	20	26	0	0	0	4	5	9	9	5	14	1	7	8	0	0	0	20	37	57	
		0	0	0	0	0	0	4	5	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5	9	

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）：
鳴門教育大学配属

国名	種別	博士			研究生			計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
アジア	韓国	1		1			0	1	0	1
		1		1			0	1	0	1
	中国		1	1			0	0	1	1
				0			0	0	0	0
計		1	1	2	0	0	0	1	1	2
		1	0	1	0	0	0	1	0	1

合計		
男	女	計
21	38	59
5	5	10

備考：下段は、国費留学生で内数



交通ルール・マナーを守ろう！

…あなたの行動は、自分本位ではありませんか？



● 構内への駐車

構内の交通マナーに関しては、みなさんもお覧になっているとおりで。路上や枠外への駐車は、他の通行車輛や歩行者にとっては迷惑ですし、事故の原因となりかねません。

本学では、自由に車輛が出入りできるようになっている分、みなさん一人ひとりの良識に委ねられています。このままの状態が続くと、強制的に車輛進入規制を行うこともあります。

- ★学生用駐車場は、第1～4駐車場です。
(講義棟東側、健康棟北側の駐車場は、学生は利用できません。)
- ★駐車許可申請を行い、許可シールの発行を受けて下さい。
- ★路上、身障者用スペースへの駐車、その他駐車スペース以外への駐車は厳禁です。

● 当て逃げ

大学構内での「当て逃げ」被害の報告があります。過って駐車中の車にぶつけてしまった場合は、まず学生課など大学職員(夜間・休日等は警備員)に連絡しましょう。

そのまま逃げてしまうことは「道路交通法違反」です。

● 自転車・バイク

最近、構内の建物で囲まれた区域を走行する自転車・バイクが増えています。この区域は、原則、**車輛乗り入れ禁止**です。

また、駐輪場以外への駐輪は禁止です。

指定場所以外への駐輪を発見した場合は、予告なく移動させることがあります。



大学として効率的な対策を検討中ですが、みなさん一人ひとりの意識の改善が必要です。自分さえ良ければ…、他の人もやっているから…、など自分に都合のいい判断で、結果として「ルール違反」、「マナー違反」になっていませんか？もう一度よく考えてみて下さい。

インフルエンザ？百日咳？と思ったら…

新型インフルエンザや百日咳などの感染症は、今後も流行する可能性があります。

大学としては、学内の集団感染を最小限に食い止めるため必要な措置を取りたいと考えていますので、次のような場合には**心身健康センター(電話088-687-6631)**に報告してください。皆さんのご協力をお願いします。

- インフルエンザ…風邪の症状が長引くなど、インフルエンザ様症状(38度以上の発熱、かつ、急性呼吸器症状(鼻汁若しくは鼻閉、咽頭痛、咳のいずれか1つ以上)を呈する)がある場合
- 百日咳…風邪のような症状からはじまり、しつこい咳が長く続く。発熱はあまりない。
- 医療機関に受診の結果、インフルエンザ様疾患、百日咳等感染症と診断された場合

≡ 学生会・院生会だより



ひと夏終えて……

◆ 学生会会長 村井庸佑

みなさん、こんにちは。前回のイベント「かき氷大会」はお楽しみいただけただでしょうか。今年は、珍しく学生会スタッフが多く、長期間イベントができたので、より多くの方に「学生会」を認知して頂けたのではないかと思います、個人的には満足しています。また、今年、学生会員となってイベントを進めてくれた新人たちにはとても感謝しています。

さて、そんな新人たちと共に、学生会の夏休みイベント「サマースクール」で8月7、8日の2日間、小学校に行ってきました。

そこでは、児童たちとドッチボールをしたり、プールで泳いだり、バーベキューをしたり、真夜中の学校で肝だめしをしたりと、貴重な体験ができました。

サマースクールを終えて、新人たちの表情が少し大人になっていて、何だか微笑ましくありました。

と、こんな風に、近くの後輩の成長を喜ばしく思いながら、自分自身も努力しなければと残暑の中で決意を新たに、新生学生会を引っ張っていきたいです。



かき氷大会



七夕企画!! 夢みる僕らは美しい

〈小学校・国語 3年〉

初めまして!!

◆ 院生会会長 番場友基



こんにちは!

特別支援教育コース
長期履修1回生の番場
友基です。

障害児と健常児が一緒の場で、というインクルージョン教育を先生になり実行したいと思い鳴門教育大に来ました。

した。

唐突ですが! 僕は高校3年生まで人が嫌いでした。いつも誰かを誰かとけなしていました。自分自身を優位に保っておきたかったのです。

大学生になり、重度障害児とマンツーマンでキャンプをするというボランティアに参加しました。中には今までの常識とかけ離れた出来事が沢山ありました。解からなくてわからなくて悩みました。何回か参加している内に、ふと気が付くと

悩まなくなっていました。

なぜかと言うと、自分自身が出してきた常識がとても視野の狭いものであるということを教えてもらったからです。

時間をかけないと、語らわれないと気づけないその人の素晴らしい部分が見えて来たのです。それからは障害に対して、人に対する見方が変わって行きました。

誰もが欠点はあるけれど、素晴らしい部分も持っている。

対人関係において、9割が第一印象によって左右されると言われています。だからこそ僕は残りの1割を大切に見ていき、向き合っていきたいと思います。友だち、院生会、先生になって出会う子どもや保護者に対して。

いや～人ってスバラシ～イ!!

〈特別支援教育専攻 L1〉

行事予定

● ● ● 平成22年度後期

	行 事 等	備 考	
学 部	10月1日(金)	創立記念日	(全学共通) 10月11日(月) 「後期履修登録」締切 後期履修登録変更期間 10月12日(火)～10月18日(月) ※12月16日(木)は金曜の授業を実施する。 ※2月10日(木)は金曜の授業を実施する。
	10月4日(月)	授業開始	
	10月18日(月) ～ 10月31日(日)	施設実習(2年)〔鳴門こども学園等〕	
	10月25日(月) ～ 10月29日(金)	特別支援教育観察実習(4年)〔附特別支援〕	
	10月26日(火) ～ 10月27日(水)	3年次生合宿研修	
	10月31日(日) ～ 11月12日(金)	副免教育実習(4年)〔附中〕	
	11月1日(日) ～ 11月12日(金)	副免教育実習(4年)〔附小〕	
	11月1日(月) ～ 11月12日(金)	特別支援教育実習(4年)〔附特別支援、県立特別支援〕	
	11月12日(金) ～ 11月14日(日)	大学祭・学生表彰表彰授与式	
	12月17日(金) ～ 12月24日(金)	集中講義	
	12月26日(日) ～ 1月7日(金)	冬期休業	
	1月末(土)	サークル・リーダーシップ・セミナー	
	2月28日(月) ～ 3月4日(金)	後期試験期間	
3月5日(土) ～ 3月31日(木)	学年末休業		
3月18日(金)	学位記授与式、学生表彰表彰授与式、満上賞授与式		
大 学 院	10月1日(金)	創立記念日	
	10月4日(月)	授業開始	
	11月12日(金) ～ 11月14日(日)	大学祭・学生表彰表彰授与式	
	11月30日(火)	1年次生(長期履修2年)「学位論文計画書」提出締切	
	11月30日(火)	2年次生(長期履修3年)「学位論文計画書(変更届)」提出締切	
	12月17日(金) ～ 12月24日(金)	集中講義	
	12月26日(日) ～ 1月7日(金)	冬期休業	
	3月1日(火) ～ 3月31日(木)	学年末休業	
3月18日(金)	学位記授与式、学生表彰表彰授与式、満上賞授与式		
教 職 大 学 院	10月1日(金)	創立記念日	
	10月4日(月)	授業開始	
	11月12日(金) ～ 11月14日(日)	大学祭・学生表彰表彰授与式	
	12月26日(日) ～ 1月7日(金)	冬期休業	
	1月20日(木)	2年次生「最終成果報告書」提出締切	
	3月1日(火) ～ 3月31日(木)	学年末休業	
	3月18日(金)	学位記授与式、学生表彰表彰授与式、満上賞授与式	

就職支援行事予定

※詳細は就職支援室で確認すること。

- 大学院就職説明会 10月20日(水)
- 3年次生合宿研修 10月26日(火)～27日(水)
- 教採対策ガイダンス(基礎編) 11月10日(水)～2月23日(水)毎週水曜日
(ただし、12/22, 12/29, 1/5除く)
- 就職ガイダンス(面接マナー) 11月10日(水), 11月24日(水), 12月8日(水),
1月12日(水), 2月16日(水)
- 就職ガイダンス(企業) 11月10日(水)
- 教採対策ガイダンス(論作文編) 11月17日(水), 12月15日(水), 2月9日(水)
- 就職ガイダンス(公務員) 11月17日(水), 2月16日(水)
- 教採実技ガイダンス(集団) 11月27日(土)
- 本学出身教職関係者との情報交換会 2月5日(土)
- 教採実技ガイダンス(個人) 2月19日(土)
- 教員採用模擬試験 3月5日(土)

【学生会・院学生会主催行事予定】

- ★学生会★…卒業記念パーティー(3月18日(金))
- ★院学生会★…ソフトボール大会

編集後記

今年4月、学長に就任されました田中雄三先生への学生による直撃インタビューを企画いたしました。直接お話しする機会が少ない先生のお人柄を垣間見ることができたのではないかと思います。9名の新任教職員をお迎えし、その紹介文も掲載しました。

また、四国地区大学総合体育大会、鳴潮祭の準備、国際交流など、鳴教大生がいきいきと活動する姿や、各附属校園の園児・児童・生徒そして実習生への教育活動など、楽しみながらご一読いただければと思います。(M・O)

